



Press Release

2024年11月11日

報道関係者各位

会社名 第一三共株式会社
代表者 代表取締役社長 奥澤 宏幸
(コード番号 4568 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 朝倉 健太郎
TEL 03-6225-1126

エンハーツ®の「米国ガリアン賞」受賞のお知らせ

第一三共株式会社(本社:東京都中央区、以下「当社」)は、エンハーツ®(トラスツズマブ デルクステカン、抗HER2抗体薬物複合体(ADC)*)が、ベストバイオテクノロジー製品としてガリアン財団の2024年米国ガリアン賞(Prix Galien USA Award)を受賞しましたので、お知らせいたします。

ガリアン賞は、画期的な医薬品や医療技術製品の功績を称えるもので、製薬分野におけるノーベル賞に相当する栄誉賞として位置づけられています。同賞は、本年11月7日にニューヨークのアメリカ自然史博物館で行われた式典で授与されました。

当社の代表取締役会長 兼 CEOの眞鍋 淳は、「この度、エンハーツ®が名誉ある賞を受賞できたことを大変光栄に思います。エンハーツ®は、転移再発乳がんの分類と治療を再定義することで多くの患者さんへ新たな選択肢を提供し、また、がん種横断的な適応を米国で取得したことでHER2陽性固形がんの治療に変革をもたらしました。当社は、エンハーツ®ががん治療の発展にグローバルでさらに貢献できるよう、革新的な研究開発を推進してまいります。」と述べています。

以上

* 抗体薬物複合体(ADC)とは、抗体と薬物(低分子化合物)を適切なリンカーを介して結合させた薬剤で、がん細胞に発現している標的因子に結合する抗体を介して薬物をがん細胞へ直接届けることで、薬物の全身曝露を抑えつつがん細胞への攻撃力を高めています。

第一三共のADCパイプラインについて

第一三共のADCパイプラインは、第一三共独自の二つのADC技術プラットフォームから創製された、臨床開発段階にある7つのADCから構成されています。

一つ目のADCプラットフォームは、がん細胞表面に発現する特定の抗原を標的とした抗体と、複数のトポイソメラーゼ I 阻害剤(DXd)をリンカーを介して結合させ、がん細胞の内部へDXdを届けるDXd ADC技術で、現在6つのADCがあります。トラスツズマブ デルクステカン(エンハーツ®、抗HER2 ADC)およびダトポタマブ デルクステカン(Dato-DXd/DS-1062、抗TROP2 ADC)は、全世界(当社が独占的権利を有する日本は除く)においてアストラゼネカと共同で開発および商業化を進めています。パトリツマブ デルクステカン(HER3-DXd/U3-1402、抗HER3 ADC)、イフィナタマブ デルクステカン(I-DXd/DS-7300、抗B7-H3 ADC)およびDS-6000(R-DXd、抗CDH6 ADC)は、全世界(当社が独占的権利を有する日本は除く)において Merck&Co., Inc., Rahway, NJ, USAと共同で開発および商業化を進めています。DS-3939(抗TA-MUC1 ADC)は当社が単独で開発を進めています。

二つ目のADCプラットフォームは、がん細胞表面に発現する特定の抗原を標的とした抗体と、改変されたピロロベンゾジアゼピン(PBD)を結合させ、がん細胞の内部へ改変されたPBDを届けるADC技術です。DS-9606(抗CLDN6 ADC)は、このプラットフォームを活用した最初のADCです。

なお、ダトポタマブ デルクステカン、パトリツマブ デルクステカン、イフィナタマブ デルクステカン、DS-6000、DS-3939およびDS-9606は、現在開発中の薬剤です。安全性および有効性はまだ確立されておらず、各国の規制当局による薬事承認は受けていません。